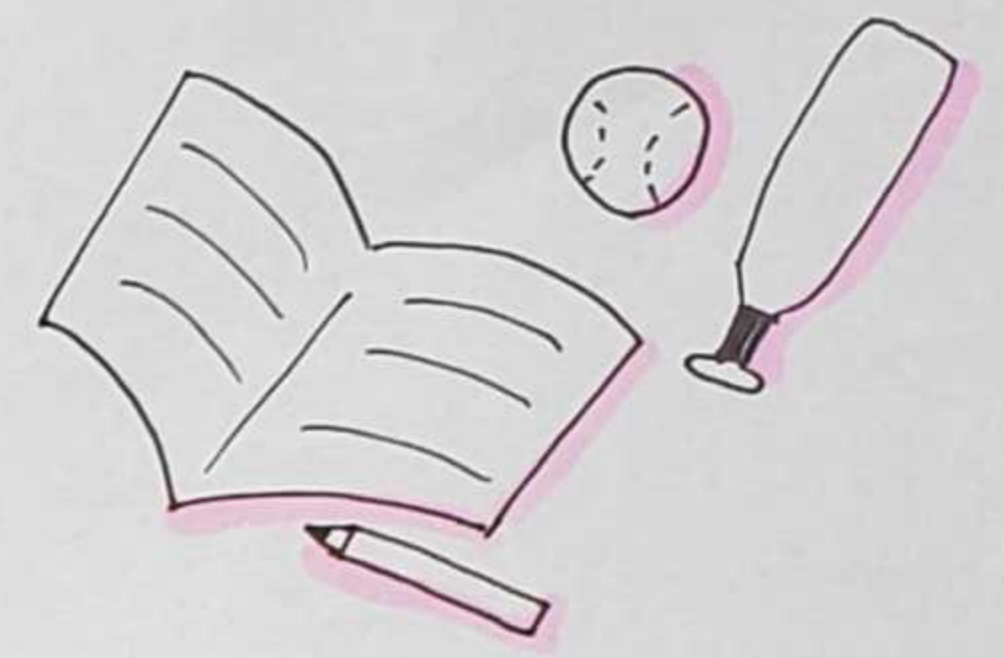


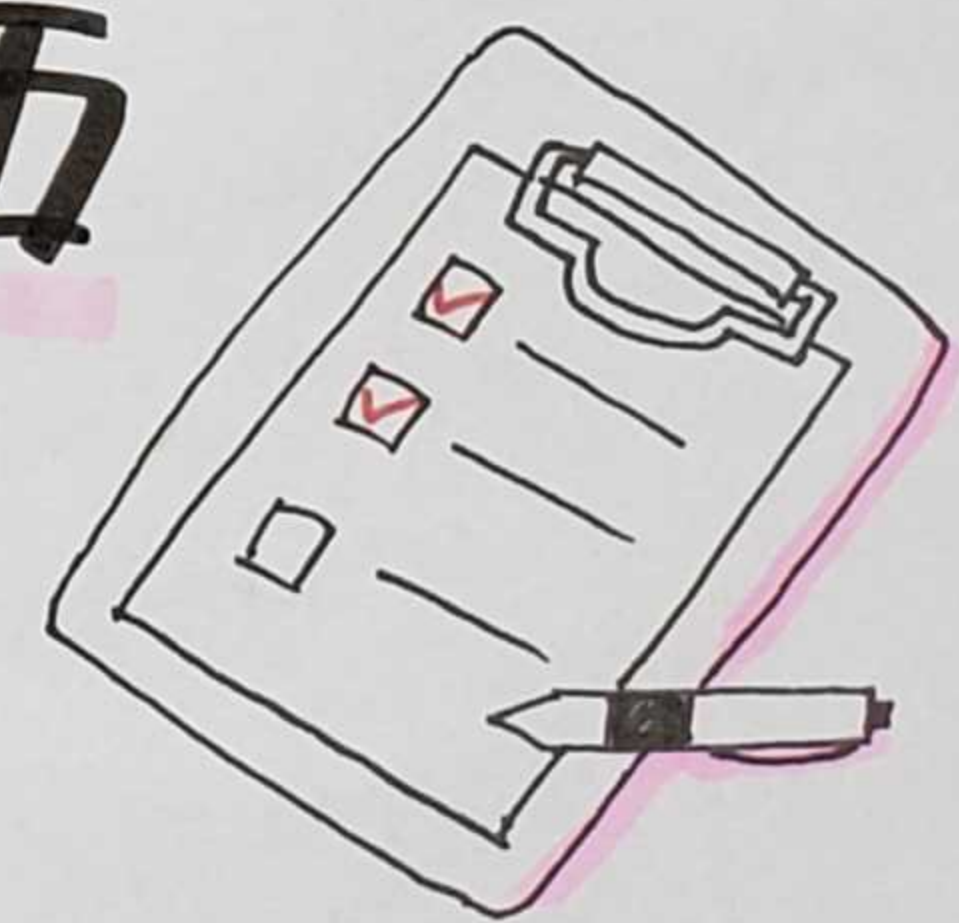
2022
1.29
Zoom

児童が主体的に



ヒト・モノ・コト に関わる

姿勢・態度の評価

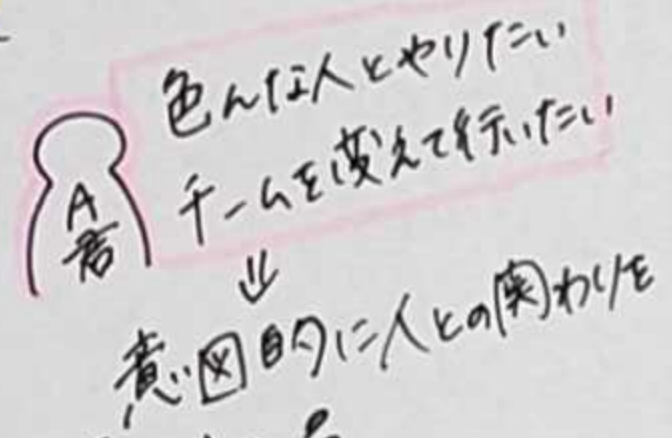


エンジョイタイム

興味・関心を広げる
やってみる・好きにならなめる。
行動目標 → 内面を見られたいか?

実践例: あおい学級

ニュースポーツ
ユニバーサルスポーツ
人と関わる楽しさ

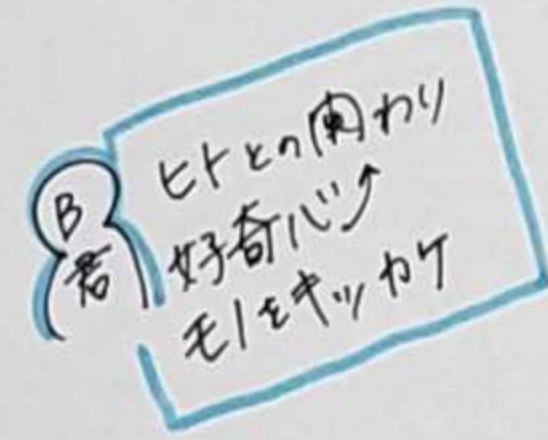


授業の評価からアツロが難しかったら
担任 → 担当

実践例: わかば学級

好奇心
夢中
自己理解
人との関わり
試行錯誤

5つの要素が
ヒト・モノ・コト
カ・マ・メ
3・1・4
3・1・4



指導者同士の連携
→ 時間配り

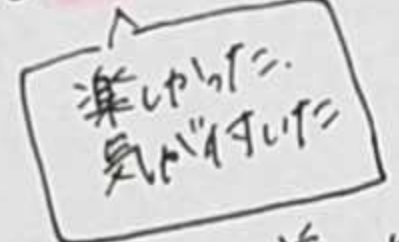
単元: テレビ番組作り
ビデオとして記録を取って振り返る
教員から向い合っている



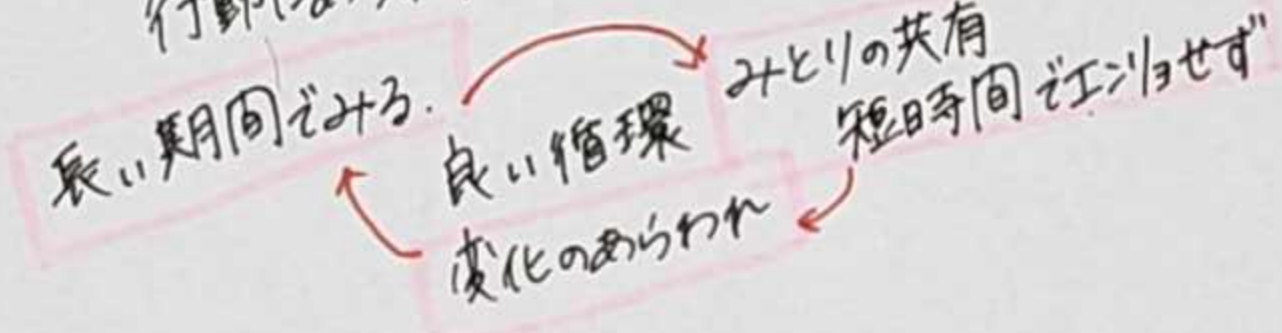
自分たちが成果物を振り返る
→ 他学年や保護者やボランティアの方々に番組を見せよう
次のモチベーションに
つなげる

指導者同士の連携

時間がとれない。
→ 共有とコメント共有 視覚的に共有
モチベーション



行動にあられる前の気持ちを見る



内面のみどり

思考判断 → 現れる何かを
みつける
見つけやすさ

評価の軸
ねばり強いか
見通しができるか

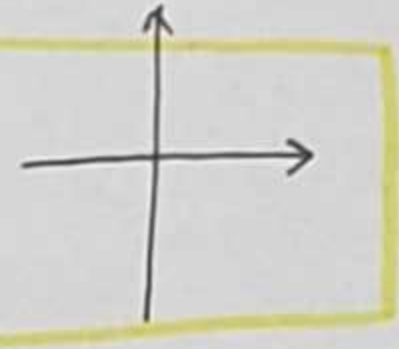
評価基準 = 軸??
目指す姿
単元ごとの位置づけ
時間ごとの場面ご

主観と客観
1人1人について
学びをみる
話し合っ分析



キーワード

共有
軸をもって評価

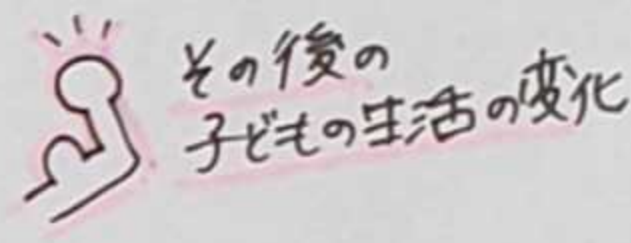


基本情報を共有

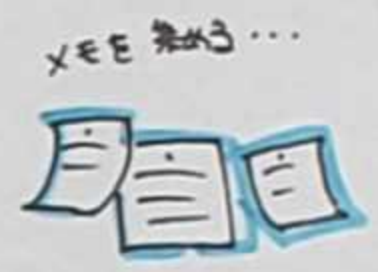
子どもの変化のタイミングで声かけ
→ 共有
どこでどのくらいか。

アウトウムの重要視

どのように変化してか
友人に話す。
家でもやってみたい



若干の意識変化でも良い!
いっすうでも集めるのが大事



子どもが実感できる工夫
1人1人に対する評価
内面 = 見えぬ
評価 (先生の人柄) 子どもの姿を
みどり方 映し出す

主観を取り除きすぎず
人間味のある評価を。

講評 秋田大学 鈴木徹 先生

